

# 『港と鉄道の歴史コース』

敦賀の歴史を語る中で大切な場所 敦賀港  
その歴史と鉄道の歴史を辿るルートです  
敦賀駅発着の「ぐるっと敦賀周遊バス」をご利用ください

- ① JR敦賀駅 3番バス乗り場 (地図右下) 男女  
▼ぐるっと敦賀周遊バス 乗車約10分  
▼金ヶ崎緑地 下車 (事前申込み時にガイドと待合せ)  
▼徒歩 約2分
- ② 敦賀鉄道資料館 (旧敦賀港駅舎) (30分) 男女  
▼徒歩 約10分
- ③ 人道の港 敦賀ムゼウム (45分) 男女  
▼徒歩 約15分
- ④ ランプ小屋 (20分)  
▼徒歩 約10分
- ⑤ 金崎宮 (30分) 男女  
▼徒歩 約10分
- ⑥ 敦賀赤レンガ倉庫 (30分) 男女 お土産  
▼倉庫前のバス停から約17分で敦賀駅

ぐるっと敦賀周遊バスの経路には、  
「市立博物館」、「氣比の松原」、「氣比神宮」などがあります  
②、③、⑥の各館は、水曜 (祝日の時木曜) と年末年始休館

### ③ 人道の港 敦賀ムゼウム

敦賀港は、かつてヨーロッパとの交通の拠点でした。1920年代にポーランド孤児、1940年代にユダヤ難民が上陸した日本で唯一の港です。「人道の港敦賀ムゼウム」では、苦難を乗り越えて敦賀に上陸したポーランド孤児、ユダヤ難民の史実、当時の敦賀市民の証言やエピソードの他、今も続く心温まる交流を紹介し、命の大切さと平和の尊さを発信しています。入館料:500円



### ② 敦賀鉄道資料館 (旧敦賀港駅舎)

とんがり屋根が印象的な敦賀鉄道資料館。「欧亜国際連絡列車」の発着駅として重要な位置を占めていた「旧敦賀港駅舎」を開港100周年に当たる1999年に再現したものです。入館無料

### ○ 眼鏡橋 (水路橋)

明治15年(1882年)、敦賀と長浜の間に鉄道が開通した当時、イギリス製の蒸気機関車がこの眼鏡橋の上を走っていたのです。



### ④ ランプ小屋

ランプ小屋は、列車の灯火に使用されるカンテラの燃料を保管する油庫でした。金ヶ崎駅のランプ小屋は1882年(明治15年)頃に建てられました。丁寧に積み上げられたレンガや開口部のアーチなど独特の趣があります。



### ⑤ 金崎宮

南北朝時代や戦国時代に大きな戦いの地となった金ヶ崎城址の麓にある神社で、約400本のソメイヨシノがあり桜の名所として知られています。このエリアから、港町つるがの街並みと、天然の良港・敦賀湾をそれぞれ眺望できます。



### お土産ものなど

赤レンガ倉庫にはアジアや大陸、ヨーロッパを結ぶ港まちとしての歴史にちなみ、「海と港、国際性」をコンセプトとしたレストラン、福井県の特産品を扱ったお土産ショップなどがございます  
また、氣比神宮前の商店街や敦賀駅前の商店街、駅構内のオルパークでもお土産ものが購入できます



### START & GOAL

- ① JR敦賀駅  
3番バス乗り場  
ぐるっと敦賀周遊バスを利用  
乗車券:200円  
(一日フリー券:500円)



# 『氣比神宮と街歩きコース』

市民に「けいさん」の愛称で親しまれている氣比神宮  
レトロな建物が建ち並ぶ博物館通り  
敦賀の魅力的な場所をゆっくり街歩き、いかがですか

- ① JR敦賀駅 3番バス乗り場 (地図右下)
- ▼ぐるっと敦賀周遊バス 乗車約3分
- ▼氣比神宮 下車 (事前申込み時にガイドと待合せ)
- ▼徒歩 約2分
- ② 氣比神宮 (40分)
- ▼徒歩 約10分
- ③ みなとつるが山車会館 (40分)
- ▼徒歩 約1分
- ④ 敦賀市立博物館 (30分)
- ▼徒歩 約1分
- ⑤ 博物館通り (20分)
- ▼徒歩 約5分
- ⑥ お魚通り (20分)
- ▼お魚通りバス停から約7分で敦賀駅

ぐるっと敦賀周遊バスの経路には、「敦賀鉄道資料館」、「敦賀ムゼウム」、「赤レンガ倉庫」、「氣比の松原」があります  
③、④の両館は、月曜 (祝日の時火曜) と年末年始休館

④ 敦賀市立博物館  
1927年に完成した旧大和田銀行の建物。当時の敦賀港の繁栄を象徴する豪華なつくりで、建物そのものも見どころ満載です。  
入館料:300円  
③、④両館共通券:500円



③ みなとつるが山車会館  
敦賀まつりに使われる山車を展示しています。1階が展示室やホール。ビデオプロジェクターとスライドを使った迫力ある山車巡行の映像を見ることができ、2階には常設展示室やギャラリーなどを備えています。  
入館料:300円



## ⑤ 博物館通り

博物館通りは旧大和田銀行本店 (現:敦賀市立博物館) や酒蔵などの歴史的な建物が残る商店街。  
白い石畳が敷き詰められた通りには、歴史的建造物や古い町家を活かしたカフェなどが点在しています。



## ⑥ お魚通り

敦賀水産卸売市場、敦賀市漁協センター、魚の間屋さんや市場などがあります。



## ② 氣比神宮

702年 (大宝2年) の建立と伝えられる氣比神宮は、北陸の総鎮守。国の重要文化財の大鳥居は日本三大木造大鳥居の一つ  
荘厳な境内は越前一の宮としての風格が漂い、かつては松尾芭蕉も同神宮を訪れ、いくつかの句を詠んでいます。



## お土産ものなど

氣比神宮前の商店街や敦賀駅前の商店街、駅構内のオルパークでもお土産ものが購入できます。



## START & GOAL

- ① JR敦賀駅  
3番バス乗り場  
ぐるっと敦賀周遊バスを利用  
乗車券:200円  
(一日フリー券:500円)



お申込み: 敦賀観光協会 (0770-22-8167)

8:30~17:15 月曜日~金曜日

ご案内は、「観光ボランティアガイドつるが」が担当します。

# 『敦賀の歴史探訪コース』

大谷吉継ゆかりの地を巡る

戦国の敦賀城主 大谷吉継ゆかりの地を巡るコース  
敦賀駅発着の「ぐるっと敦賀周遊バス」をご利用ください

- ① JR敦賀駅 3番バス乗り場 (地図右下) ㊟  
▼ぐるっと敦賀周遊バス 乗車約4分  
▼きつぱパークつるが下車 (事前申込み時にガイドと待合せ)  
▼徒歩 約7分 約500m
- ② 八幡神社 (私立敦賀郷土博物館) (15分) ㊟  
▼徒歩 約5分
- ③ 敦賀城址 (小学校前石碑) (10分)  
▼徒歩 約10分
- ④ 真願寺 (10分)  
▼徒歩 約10分
- ⑤ 敦賀市立博物館 (35分) ㊟
- ⑥ みなとつるが山車会館 (25分) ㊟  
▼徒歩 約10分
- ⑦ 永賞寺 (20分)  
▼徒歩約10分で氣比神宮前のバス停

氣比神宮前の神楽町には商店街があります  
⑤、⑥の両館は、月曜 (祝日の時火曜) と年末年始休館

## ④ 真願寺

真願寺には、敦賀城の礎石が残る。本寺は敦賀城域の北西隅に当たるといふ。真願寺から東へ延びる赤川は、敦賀城の堀の遺構と伝えられています。



## ⑤ 敦賀市立博物館

1927年に完成した旧大和田銀行の建物。当時の敦賀港の繁栄を象徴する豪華なつくりで、建物そのものも見どころ満載です。  
入館料:300円  
⑤、⑥両館共通券:500円



## ⑥ みなとつるが山車会館

敦賀まつりに使われる山車を展示しています。  
1階が展示室やホールビデオプロジェクターとスライドを使った迫力ある山車巡行の映像を見ることができ、2階には常設展示室やギャラリーなどを備えています。  
入館料:300円



## ⑦ 永賞寺

大谷吉継の菩提寺 敦賀市指定文化財の九重塔は吉継の供養塔と伝えられています。



## ③ 敦賀城跡 (西小学校前石碑)

吉継の居城であった敦賀城。この西小学校には敦賀城の案内碑があり、敦賀城が確かにここに存在したことを教えてくれます。



## ○ 来迎寺

少し離れた来迎寺には敦賀城裏門から移築された中門や移設された腰高障子など歴史的遺産が残されています。

## ② 八幡神社 (私立敦賀郷土博物館)

敦賀城の欄間や礎石、鬼瓦、吉継が愛した茶壺、吉継が寄付したとされる石の大鳥居、石灯笼、龍の彫刻など吉継に纏わるさまざまな歴史的遺産が残されています。



## お土産ものなど

氣比神宮前の商店街や敦賀駅前の商店街、駅構内のオルパークでもお土産ものが購入できます



## START & GOAL

- ① JR敦賀駅 3番バス乗り場  
ぐるっと敦賀周遊バスを利用  
乗車券:200円  
(一日フリー券:500円)



お申込み: 敦賀観光協会 (0770-22-8167)

8:30~17:15 月曜日~金曜日

ご案内は、「観光ボランティアガイドつるが」が担当します。

# 『天狗党ゆかりの地コース』

敦賀の歴史の中での一つの哀しい出来事、天狗党の処刑  
天狗党のゆかりの地を巡るルートです  
敦賀駅発着の「ぐるっと敦賀周遊バス」をご利用ください

- ① JR敦賀駅 3番バス乗り場 (地図右下)
  - ▼ぐるっと敦賀周遊バス 乗車約17分
  - ▼松原神社 下車 (事前申込み時にガイドと待合せ)
  - ▼徒歩 約2分
  - ② 松原神社 (25分)
  - ▼徒歩 約3分
  - ③ 武田耕雲齋等墓 (25分)
  - ▼徒歩 約3分
  - ④ 来迎寺野 (10分)
  - ▼徒歩 約20分
  - ⑤ 本勝寺 (15分)、本妙寺 (10分)、長遠寺 (10分)
  - ▼徒歩 約15分
  - ⑥ 永覚寺 (15分)
  - ▼徒歩 約5分
  - ⑦ 永厳寺 (10分)
  - ▼徒歩 約10分
  - ⑧ 氣比神宮 (30分)
  - ▼神宮前のバス停から約5分で敦賀駅
- ぐるっと敦賀周遊バスの経路には、「敦賀鉄道資料館」、「赤レンガ倉庫」、「氣比の松原」などがあります

- ④ 来迎寺  
来迎寺の西側に位置する「来迎寺野」と呼ばれる場所で、武田耕雲齋をはじめとする浪士353名が幕府によって処刑された。
- ⑤ 本勝寺、本妙寺、長遠寺  
加賀藩に降伏した天狗党一行が最初に收容され、温かく迎えられた3つの寺院。  
本勝寺には、耕雲齋や小四郎らをはじめ、387名が預けられた。「武田伊賀守耕雲齋以下水戸烈士幽居之寺」と刻まれた石碑がある。  
また、本妙寺には、耕雲齋の次男である武田魁介ら346名が收容された。  
長遠寺には、天狗党の90名の浪士が身を寄せたといわれている。



③ 武田耕雲齋等墓  
松原神社の近くにある墳墓。武田耕雲齋らの幹部24名を始め、幕府が下した斬首刑により敦賀で命を落とした353名の名前が墓石に刻まれている。さらに、行軍中に討ち死にした21名、病死した31名の天狗党一行の名前も残っている。



② 松原神社  
武田耕雲齋ら411柱の浪士を祀るために創建された神社。境内に浪士が監禁された練倉のひとつが旧舟町から移築されている。

○ 武田耕雲齋本陣跡(新保陣屋)  
敦賀市新保にある耕雲齋本陣跡。  
1864(元治元)年12月、木ノ芽峠を越え新保に到着した武田耕雲齋以下の天狗党一行は、この屋敷に本陣を置き、加賀藩との交渉を行い最後は降伏する。



⑥ 永覚寺  
幕府はここに法廷(仮白洲)を設置し、天狗党の簡易な取り調べを行った。  
353名に斬首が言い渡され、およそ470名が追放などに処された。



⑦ 永厳寺  
天狗党には少年も同行していたが、この少年らの行く末を不憫に思った住職が奉行所に申し入れ、十数名を仏弟子として引き取った。

**お土産ものなど**

氣比神宮前の商店街や敦賀駅前の商店街、駅構内のオルパークでもお土産ものが購入できます。

**START & GOAL**

① JR敦賀駅 3番バス乗り場  
ぐるっと敦賀周遊バスを利用  
乗車券:200円  
(一日フリー券:500円)